

令和8年3月12日

宇部市恩田運動公園野球場のあり方に係る今後の方向性
～個別施設計画の変更～

1 施設概要

施設名：宇部市恩田運動公園野球場（ユーピーアールスタジアム）

所在地：宇部市恩田町四丁目1番4号

建築年：平成10年2月

築年数：28年

法定耐用年数：38年

延床面積：10,861.04 m²

建築面積：4,555.06 m²

構造：鉄筋コンクリート造

耐震性：有

バリアフリー：身障者トイレ、車椅子用観覧席

設置目的：本市におけるスポーツ、レクリエーションの振興を図り、市民の健康の保持増進に資するため

2 個別施設計画変更の理由と背景

当初計画では小規模修繕による「現状維持」方針であるが、現在の状況は下記のとおりである。

(1) 老朽化対策の緊急性

近年の調査の結果、野球場に附属する夜間照明鉄塔の基礎部分のクラック、シーリングの劣化、床材・梯子の損傷、鉄塔結合部の錆など、各所に老朽化が進行していることが判明した。これらを放置した場合、利用者の安全確保に支障をきたす恐れがあるため、早期の対策を講じる必要がある。

(2) 照明部品の生産終了と最新設備への更新

現在使用している水銀灯（メタルハイドランプ）は、国内メーカーが生産を終了したため、故障しても部品が手に入らない状況にある。今後も夜間利用を継続するためには、修理が可能で省エネ性能も高いLED照明への切り替えが急務となっている。

(3) リニューアルによる相乗効果と有効活用

恩田スポーツパーク整備事業によりグラウンドの人工芝化やバックスクリーンの改修を既に完了している。これらの成果を最大限に活かし、施設全体の利便性と効率性を高めるためには、一体的に運用される夜間照明設備の補修及びLED化が不可欠である。

(4) 地域に欠かせないスポーツの拠点としての継続

本施設は大規模な大会や練習ができる市内でも数少ない専用施設であり、他施設への機

能移転が困難である。地域に不可欠なスポーツ拠点として、持続的な活用が必要である。

3 今後の方向性（変更後）

上記の状況を踏まえ、施設の活用方針を「現状維持」から「長寿命化改修」へと変更し、当該施設を法定耐用年数を超えて活用するために不可欠である夜間照明の鉄塔改修や LED 化等を実施することで、安全性を確保するとともに、市内外から多くの人が集まる魅力的な施設として延命化を図っていく。